

ちょっと紹介

こんな魅力が発掘されました

圧倒的な存在感を持つ鹿踊り (岩谷堂高校鹿踊部)

県内の鹿踊りは江刺から伝わったともいわれ、「五穀豊穡」「国土安穩」などといった祈りの意味を持つ。鹿踊りに魅了され、連日練習に励む同部は、公演とは別に鹿踊りをアピールしようと、エコバッグなどのグッズの販売も始めた。



うどんとすいとんにイタリアンを 「移食」(胆沢・いなか料理おふくろ)

おふくろ定番のうどんやすいとんはもちろん、イタリアでの料理の経験をもつ店主の渡邊卓さん(38)が作るイタリアンの要素が満載の料理が絶品!



インタビュー



三澤 竜翔さん
(岩谷堂高校2年)
※取材時

地域に根付いているものや地域の温かさを伝えたいと思いながら、レポートを作成しました。市内には魅力のあるものがたくさんあると気付くことができました。市がもっと活発になって若い世代が増えて欲しいと思います。

市内の魅力あるものを、うまく発信する方法を知りたいと思参加しました。

客観的に伝える、誰が見ても伝わる技術を知ることができたので、今後、仕事での情報発信に役立てたいです。



藤本 エレナさん
(水沢)

北館桜を見ながら歴史に思いをはせる (衣川)

東北自動車道のすぐ脇にあるエドヒガンの一本桜。安倍一族の居館・北館があった場所にあり、樹齢700年を越し、樹高は20m、根元の胴回りが7mにも及ぶ。



若者でも楽しく滞在できる街・水沢

水沢公園をスタートして駅周辺のレストランでランチ。その後、さくら大橋から水沢を一望できる景色を眺め、駅前に戻り、お酒落なカフェで一休み。全て徒歩で周ることができる(写真はさくら大橋からの眺め)。



日本酒は、自分好みに割って飲む (前沢・岩手銘醸)

岩手銘醸「岩手誉」を奥州市産りんごジュースで割って飲む「日本酒カクテル」。地元のもの同士をコラボした、地産地消にもつながる一杯。



今回作成された「魅力発掘発信レポート」は、編集作業を行った後、当日の様子とともにJT Bふるさと納税サイト「ふるほ」に掲載され、全国に発信されます。(4月末頃掲載予定)

「その土地を、ふるさとを想う人をつくる」
JT Bふるさと納税サイト ふるほ



講師 合同会社イーストタイムズ
中野 宏一氏

東日本大震災の被災地報道を契機に起業。全国各地の魅力の発掘を手掛け、ローカルの世界で価値を発信し続ける。



市は、JT Bとイーストタイムズと共に、市民参加型の「奥州市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」を2月から3月にかけて開催しました。この講座は、市の魅力を市民自らが発掘・発信を行うことで、シビックスライドやシティプロモーションの機運を高め、市のフラント形成や関係人口創出につなげることを目指して企画したものです。参加者は、SNS投稿やPRにも活用できる、地域のまだ知られていない魅力を発掘・発信するノウハウを学び、レポートを発表しました。その概要をお知らせします。

■問い合わせ=本庁都市プロモーション課ふるさと交流係 (☎ 34-2116)



初回はオンライン形式で開催。インターネット環境のない人は市役所本庁で参加

参加者は、高校生から60代の30人(オンライン含む)。市内在住者以外にも、市出身者、当市に興味がある人など職種も環境もさまざまです。「市の魅力をもっと伝えたい」という思いを持つ人たちが集まりました。

ワークショップ1回目 「本当の魅力とは何か」

「心の中にある地元の姿。それがローカルの魅力」「あなたの驚き・発見・感動こそがローカルの魅力」講師の言葉にうなずきながら熱心にメモを取る参加者の様子

様子が見られました。

講義を受けて実際に参加者が好きな市のモノ・人・体験・場所を出し合います。水沢公園など知名度のあるものから、地域のお年寄りのスポーツ体験など、その地域ならではのものまで、たくさん「魅力」が発表されました。

ワークショップ2回目 「伝わるように伝える」

前回、参加者が発表した魅力や、新たに発掘した魅力「発信」するレポートを作っていきます。

「一番感動したことは?」「かきかっこを積極的に使う」など、すぐに実践できそうなコツを教わり、最終回に備えます。

ワークショップ最終回 「魅力を発信しよう」

レポートの総仕上げ。発掘



思い詰まったレポートの発表に参加者も熱が入ります

した魅力が、同じ文化を共有していない人にも伝わっているか、一番伝えたいことが入っているかなど、添削してもらいながら、発表し合いました。子どもの頃から親しんだもの、落ち着く場所、珍しいものなど参加者の思い詰まったレポートが発表されました。地元の魅力を一番知っているのは、そこに住む皆さんです。何気ない毎日、いつもの景色こそがあなただけが知っている地元の魅力なのです

ローカル魅力 発掘 発信 ワークショップ